

**平成２９年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「オラカベッサ公立小学校通学バス整備計画」引渡式**

２０１８年１１月１６日、山崎大使は、ジャマイカ北部に位置するセント・メアリー県のオラカベッサ公立小学校にて行われた、平成２９年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「オラカベッサ公立小学校通学バス整備計画」の引渡式に出席しました。同引渡式にはロバート・モンテギュー交通・鉱業省大臣（セント・メアリー県西地区選出議員）、教育省幹部、同校関係者や地域住民の代表など約１２０名が出席して盛況に行われました。

オラカベッサ公立小学校児童の半数以上は周辺の山間部に居住しており、最も遠い地区は同校より徒歩１時間３０分かかります。しかし、オラカベッサ地区の公共交通システム網は不十分で、同校は通学バスを所有していません。児童の多くは乗り合いタクシーで通学し、残りは徒歩または保護者の送迎で登下校していましたが、経済的な事情で登校できない児童や、乗り合いタクシーの事故が発生するなどの問題がありました。しかし、今回の通学バス整備により、登下校に困難を抱えている児童が、安全に登下校することが実現可能になりました。

同校校長始め関係者は、日本政府からの援助に深く感謝の気持ちを表明すると共に、本通学バス整備計画によってバスを寄贈いただいたことは光栄であり、同県のより良い将来を願う全ての人々と共有したいと述べました。また、本通学バスを大切に使用し、児童の安全な通学環境を維持することを強調しました。

来賓として祝辞を述べたロバート・モンテギュー大臣は、同地区に援助を実施した日本政府に対する多大な貢献への深い感謝の気持ちを繰り返し述べました。また、ジャマイカとして教育分野に重点を置いており、同地区は教育省が交通・鉱業省と提携して実施中の通学バス改良対象地域の一つでもあることを示し、本支援に改めて感謝すると共に、学校関係者及び児童に、本通学バスを末永く大切に使用することを期待しました。

山崎大使は、式典への喜びを示し、１９８９年に開始された草の根・人間の安全保障無償資金協力が今年３０周年を迎えたことを紹介し、我が国はジャマイカの教育分野発展のために協力を続けてきたことを強調しました。本通学バス整備計画の実現に尽力した全ての関係者への謝意を表しつつ、本通学バスによる安全な通学環境の確保によって、全ての児童がより良い教育環境を享受し、ジャマイカの将来のリーダーに育ちゆくことへの期待を表明しました。また、日本大使館として今後一層ジャマイカの末永い発展に寄与する協力を今後も続けていきたいと強調しました。



ロバート・モンテギュー大臣



挨拶する山崎大使



ヤシエカ・ブラックウッド・グラント
教育省高等部上級幹部官



シャーリー・モンクレツフェ
国家教育基金教育案件プロジェクト部長



ミカエル・マシュー
オラカベッサ公立小学校副理事長



グレゴリー・デイビス
オラカベッサ公立小学校校長



式典に参加する児童及びオラカベッサ住民



供与された通学バス:安全で適切な通学環境を提供



テープカットするモンテギュー大臣と山崎大使



握手するモンテギュー大臣と山崎大使



踊りで日本への感謝を披露した児童代表



式典で歌を披露する児童